

なんさい

2024
5
No.336



JA南彩

—— “地域” に寄り添い “未来” に繋ごう ——

トップニュース

令和6年度JA南彩事業
キックオフ大会開催

特集1

自己改革の実践に
向けた組合員との
対話集会

特集2

農業振興支援
事業のご案内



JA南彩

検索

URL: <https://www.ja-nansai.or.jp>

ホームページで
広報誌「なんさい」が
見られます。



耕そう、大地と地域の未来。JAグループ



CONTENTS

表紙の紹介.....	2	特集2 農業振興支援事業の ご案内.....	10・11
トップニュース 令和6年度JA 南彩事業キックオフ大会開催...	3	定期人事異動.....	12・13
カメラニュース.....	4・5	新採用職員紹介.....	14
みんなの広場.....	6	JA南彩職員募集/梨選果センター アルバイト募集	15
特集1 自己改革の実践に向けた 組合員との対話集会.....	7	生活情報.....	16・17
営農情報.....	8・9	お知らせ.....	18・19・20

新茶まつり 6月8日(土)

試飲販売
狭山茶詰め放題

※イベント内容は、予告なく変更する
ことがあります。



岩槻農産物直売所
「あさつゆの里」
AM9:00～PM2:00

クールビズ運動のお知らせ

当JAでは、需要ピーク時の節電に向けた取組みと地球温暖化対策としてクールビズを実施いたします。軽装にて対応させていただきますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

実施期間 令和6年5月1日(水)～10月31日(木)

令和6年度 JA南彩事業キックオフ大会開催

4月20日、久喜市菖蒲文化会館「アミーゴ」にて全職員参加による『令和6年度JA南彩事業キックオフ大会』を開催しました。

菊池組合長は挨拶で「職員一人一人の努力に感謝するとともに、より良い職場づくりをしていきたい。また、地域に寄り添い、積極的な訪問活動と対話活動を通じ、組合員・利用者との豊かな関係性を広げ、組合員の暮らしに必要な事業展開を図り、感謝をされるような職員を目指してほしい」と述べました。



JA綱領を唱和する職員



菊池組合長による挨拶

大会は、永年勤続表彰、令和5年度におけるJA南彩善行功労に対する表彰を行い、JA事業に貢献した職員に、菊池組合長から賞状の授与を行いました。続いて、新採用職員9名の紹介が行われました。新採用職員の緊張や期待に満ちた姿勢は、新たなメンバーに対し、全職員で支えていく決意をするきっかけとなりました。その後、令和6年度の事業方針を各担当常務理事が発表し、また常勤監事が不祥事ゼロに向けた取組みについてを説明、事業の方向性や重点項目の確認をしました。



渉外担当者表彰



TAC担当者表彰



新採用職員紹介



有限責任監査法人トーマツ 菅谷広毅 様

大会後半では有限責任監査法人トーマツ 菅谷弘毅様より「経営理念に基づく行動」や、「倫理及び社会規範等に適した行動」をテーマとしたコンプライアンス研修が行われました。JA南彩役職員としての行動を振り返る大切な研修となりました。

令和6年度も組合員・地域の皆さまの信頼と期待に応えられるよう決意を新たにし、大会が終了しました。

S-GAPを取得しました



2月20日、久喜市で水稻や麦、野菜を栽培している、おかのこファーム合同会社がS-GAPを取得しました。認定交付式では、春日部農林振興センター木村眞司所長から証明書が授与されました。

埼玉県は平成26年度にGAP取得のさらなる普及に向けて、独自のGAP規範であるS-GAPを策定し、県内農家に向け、農業の向上と安全安心な農作物作りを目指した「埼玉県農業安全確認運動」を推進しています。

今回、春日部農林振興センター、久喜市役所、TACが協力し、交付までのサポートを行いました。

おかのこファーム合同会社の岡野彰代表は「これからも安全安心を心掛け、皆さまに美味しいと言っていただけるようなお米を栽培していきたいです」と話していました。



S-GAPを取得したおかのこファーム合同会社

「総代の役割と責任について」と題し総代研修会を開催

3月8日、蓮田市総合文化会館ハストピアにおいて、総代・来賓・役員283名が参加し、令和5年度JA南彩総代研修会を開催いたしました。

昨年、任期満了に伴う総代改選が行われ、令和5年12月1日に、選挙区27地区から533名の新たな総代が就任されました。この研修会は、総代の皆さまにJA運営へのご理解と関心を深めていただくことを目的とし開催いたしました。

研修会は、菊池組合長のあいさつに始まり、三角常務から令和5年度上半期事業概況の報告がありました。次にJA埼玉県中央会西田秀生常務理事から「総代の役割と責任について」と題した研修が行われました。続いて、JA南彩青年部吉田雅部長から第70回JA全国青年大会のJA青年の主張全国大会において最優秀賞を受賞した「農福連携への挑戦～未来に向かってステップアップ～」の講演が行われ、参加者は熱心に耳を傾けていました。最後に、山田雅人さんによる「かたりの世界～長嶋茂雄物語～」が披露され、会場はたくさんの笑いとう感動に包まれました。



JA南彩青年部吉田雅部長による講演

埼玉県産ペカンナッツの販売に向け、進み始める

3月13日、各営農経済センターで、生産者10名、春日部農林振興センター職員3名、JA職員10名が参加し「令和5年度ペカンナッツ販売取組報告会及び意見交換会」を開催しました。

JA南彩では新規作物としてペカンナッツの栽培や販路拡大に取り組んでおり、令和5年度については「埼玉県産ペカンナッツの燻製ショコラ」を限定販売しました。国産ペカンナッツの風味豊かな特徴を生かし、軽くローストしたペカンナッツに、燻製したオリーブオイルを浸み込ませたチョコレートをかけ、お酒のあてにもなる大人向けの商品に仕上がりました。

報告会では試食も行い、参加した生産者からは「チョコとナッツの風味がよく、とても美味しかった。今後もさまざまな販路を拡大してほしい」と話していました。



限定販売した埼玉県産ペカンナッツの燻製ショコラ



J A南彩特別栽培米生産者の会 総会開催

3月26日、蓮田支店会議室にて会員15名が出席し「J A南彩特別栽培米生産者の会 第15期総会」を開催いたしました。

令和5年度の事業報告並びに収支決算や令和6年度の計画について総会で承認されました。

J A南彩特別栽培米生産者の会で生産された令和5年産の特別栽培米「彩のかがやき」「彩のきずな」は、3,139袋/30kgとなっており、J A南彩で販売しています。

令和6年産についても安全安心な農産物の消費者への提供、良食味米の安定生産、地域農産物のブランド化を目指します。また、新品種の導入についても検討していきます。



J A南彩特別栽培米生産者の会 松岡会長

精米プラント増設で地産地消、所得向上を目指す！

4月2日、春日部営農経済センターで、J A役職員とJ A全農さいたま関係者が出席し、精米プラント増設の稼働式を行いました。

2009年9月に導入した精米プラントは老朽化や、精米能力も不足していました。また、新たな取引先の拡大、管内生産者から買取りしたお米を有利販売するため、今回の増設にいたしました。



導入した精米プラントで作業する職員

安定した価格で販売していただけるよう要請

4月5日、白岡トマト組合5名、JA役職員4名が、主力市場である株式会社大宮中央青果市場と埼玉県中央青果株式会社を訪問しました。

白岡トマト組合の大高馨組合長は「高品質なトマトを消費者へ届けられるよう取組んでおります。安定した価格で販売していただけるようお願いいたします」と要請しました。また、菊池組合長は「生産資材や燃料の価格高騰など、生産者にとって将来の農業経営において大きな不安もある中、生産者・関係者が一丸となって取組んでいます。卸売市場の皆さま方には、より一層の販売へのご尽力とご支援をお願いいたします」と要請しました。

市場担当者は「市場として産地の期待に応えられるよう尽力していきます」と話していました。



大宮中央青果市場



埼玉県中央青果

彩農あい!

みんなの広場

いいやま しょうへい
飯山 翔平さん

(さいたま市岩槻区飯塚)

飯山さんは、家業を継ぐため就農し今年で4年目を迎えます。サラダほうれん草やパクチーなどを栽培しており、地元の新鮮な野菜を地域の子供たちに食べてもらいたいという思いから、約1年前に自身で「農BASE」という合同会社を設立し、学校給食をメインに地元農産物の集荷・配送を始めました。現在はさいたま市内約10校に、さいたま市産の野菜が届けられるようになり、今後は集荷品目の拡大を目指しているそうです。

また、地域の若手生産者で構成されている「岩槻4Hクラブ」に所属しており、令和5年度に開催された「第62回全国青年農業者会議」プロジェクト発表大会で関東大会を突破し、今年3月全国大会に出場しました。休日には、2人のお子さんと公園で遊びスキップを大切に作る良きパパとして、農業とプライベートでも大活躍されています。

今後は「より農業に興味を持ちたくさんの知識を得て、自分の趣味は農業（仕事）です!と言えるくらいもっと好きになりたい」と意気込みを話してくれました。

(山口通信員)



おもしろ農産物

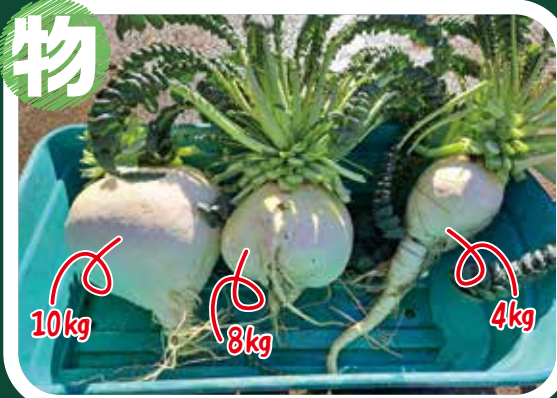
しまだ さとこ
島田 里子さん

自宅前の畑で、おもしろ3兄弟の桜島大根を収穫しました。

初めて桜島大根を収穫してみたら、な・な・なんと腰が抜けるくらい、ものの見事に大きくてビックリしました。

「長男の重さが10kg、次男8kg、そして三男が4kgと、まるで3兄弟かのように感じてしまいました。次は30kgを目指して育てたい」と島田さんは話していました。

(春日部市大場)



J A南彩 組合員との対話集会

— 自己改革の実践に向けた組合員との対話集会 —

自己改革の進捗をご報告するため昨年12月に各地区で「組合員との対話集会」を開催し、多くのご意見やご質問をいただきましたので、Q&A形式でお伝えします。今月号では「女性の活躍」について掲載させていただきます。

「女性の活躍について」

Q 1 女性組合員の比率を教えてください。

A 1 女性の正組合員は21・4%です。

Q 2 総代の定数について、地域以外に女性部からの登用枠を作ったかどうか。

A 2 女性部と話し合いながら検討させていただきます。

Q 3 女性総代は1割くらいに感じるが、どのように選出されたのか。

A 3 地域の皆さまに選出していただいております。

Q 4 高齢のため女性部の活動が難しくなっている。若い方と触れ合える場を企画運営しているが、女性部として盛り上げていくことを考えていきたい。

A 4 青年部の奥様方にご参加いただくことも検討しております。若い方の集まりを作つ

たり、子供と参加する料理教室を開き、若いお母さんたちを女性部へ加入していただくことなど検討させていただきます。

Q 5 女性組合員の比率を上げるには、組合員を増やしていくしかないのではないか。

A 5 ご意見を厳粛に受け止めて、令和6年度も組合員加入に力を入れてまいります。

Q 6 女性部員も高齢化により人数が減少している。J Aのことを知る意味でも、どんな活動に参加させていただきたい。

A 6 積極的な活動への参加をお待ちしております。

Q 7 女性役員が活躍することによって女性に関心を持つてもらえるのではないか。

A 7 今年度、J A南彩では女性役員を4名とする目標を立てておりましたが、これまでどおり3名となりました。3年後を見据えたうえで、女性が積極的

に経営に参画いただける体制作りを進めていきたいと思ひます。

Q 8 組合員が減っているが、このままだとJ Aが必要とされなくなる。営農は縮小が進み、女性の総代の選出は困難だ。

A 8 地域の農地は地域の人が守るのが理想ですが、現実的にはどうしても離農が増えて厳しい状況です。5年ほど前に、地域農業の補完的な役割でなさんさいふあー夢を設立しましたが、それ以上に離農や後継者不足によつて耕作放棄地が増えてしまひ、環境が悪くなつています。地域・行政・農業団体などの地域計画の策定が必要になりますが、皆さんのご意見を行政に伝えていきたいと思ひます。

【財源：JA 共済連 地域・農業活性化積立金】

C. 園芸(施設)栽培の省力・低コスト化技術の導入費用助成	D. 園芸(露地)栽培の省力・低コスト化技術の導入費用助成
①養液栽培システム ②自動灌水システム ③細霧冷房システム ④高濃度炭酸ガス殺虫処理装置 ⑤光合成促進用炭酸ガス発生機 ⑥環境制御・モニタリングシステム ⑦農業用ヒートポンプ ^{※1} ⑧マルチスプレイヤー ^{※2} ※1 燃油暖房機用の後付け型ヒートポンプを含む。 ※2 乗用型や歩行型を対象とする。同様機種のクローラスプレイヤーも含む。	①自動灌水システム ②局所施肥（畝内施肥）用施肥機 ③トラクター・管理機装着型播種機 ^{※1} ④自走式定植機 ^{※2} ⑩電動剪定はさみ ⑤自走式収穫機 ^{※3} ⑪ブランチシュレッダ ^{※6} ⑥乗用管理機 ⑫ウッドチップパー ^{※7} ⑦乗用草刈機 ^{※4} ⑬マルチ剥ぎ取り機 ^{※8} ⑧乗用運搬車 ^{※5} ⑭堆肥散布機・混合散布機 ^{※9} ⑨レーザーレベラー ⑮トラクター装着型鎮圧ローラー ※1 歩行型シーダーマルチを含む。播種を同時に行える機種に限る。 ※2 動力を用いて苗の植え付け作業を行う乗用型や歩行型の定植機とする。 ※3 動力を用いて作物の収穫や掘り取り作業を行う乗用型や歩行型の収穫機とする。 ※4 立ち乗り仕様の自走式草刈機を含む。なお、農地の維持管理にのみ使用する草刈機は対象外とし、栽培管理に使用するものに限る。 ※5 立ち乗り仕様の自走式運搬車を含む。なお、耕運機でけん引するトレーラーやトラクターに装着するフォークリフト等は対象外とし、圃場内で収穫物の運搬に使用するものに限る。 ※6 果樹の剪定枝の粉碎処理に使用するトラクター用アタッチメントとする。 ※7 果樹の剪定枝の粉碎処理に使用するクローラ自走式ののものに限る。 ※8 トラクター用アタッチメントやマルチの巻取作業のみを行うものは対象外とし、動力を用いてトンネル・畝マルチの剥取作業と巻取作業を同時に行う走行型のものに限る。 ※9 乗用型、トラクター装着型、歩行型を含む。

令和5年11月現在、環境負荷低減に資する研究開発や機械・資材の販売等を行う59の事業者の取組を認定。化学肥料・化学農薬の低減に資する農業機械74機種がみどり税制の対象となっている。

- ※1 「A. 農業新技術の導入費用助成」の農業用アシストスーツ、「B. 水田農業（主穀作）の省力・低コスト化技術の導入費用助成」の水管理システム、「C. 園芸(施設)栽培の省力・低コスト化技術の導入費用助成」の自動灌水システムまたは光合成促進用炭酸ガス発生機、「D. 園芸(露地)栽培の省力・低コスト化技術の導入費用助成」の自動灌水システムまたは電動剪定はさみに限り、複数台導入することにより合計金額（税抜）が10万円以上かつ助成対象価格に関して要領（6. 特例措置等）に定めた2項を全て満たす場合も助成対象とする。
- ※2 既に導入済みの機械器具を買替・更新する場合は対象外とする。
- ⑥個人間で売買した機械器具でないこと。
- ⑦農業生産以外の用途にも利用可能な汎用性の高い機械器具や、機械器具にかかる付帯費用（保険料・講習料・登録費用・運搬費用・試運転費用・メンテナンス費用など）、工事費用（電気・水道・土木・建築・付帯設備など）、消耗品代、肥料・農薬代、燃料代は対象外とする。

①施設 野菜・果樹・花卉計20a以上 ※認定新規就農者は経営規模を問わない。	①露地 野菜・果樹・花卉計70a以上 ②果樹 30a以上 ※認定新規就農者は経営規模を問わない。
--	--

限り、上記の経営規模（作付面積）未満であっても特例として申請を可能とする。

※事前申請の承認を受けた農業用機械器具の購入予定額が本申請（助成金申請）時の助成対象額の上限となる。

【財源：JA 埼玉県信連】

- （注1）農業大学校、明日の農業担い手育成塾等を指す。
 （注2）米（複合経営含む）3ha、野菜0.7ha、施設園芸のみの場合0.2ha、果樹0.3ha以上とする。
 （注3）親元新規就農者については、年間農業従事日数が150日以上であること。

- ②平成31年4月以降に新規就農した者で、令和6年4月1日において60歳未満の者
 ③埼玉県内に住所を有し農業に従事している者
 ④国の「経営発展支援事業」を利用していない、かつ利用する予定のない者

- ②事前申請承認後、令和7年2月末までに購入・支払が完了するものに限る。

※一人1回限りの申請とする。（過年度利用者は申請不可とする。）



令和6年度JAグループさいたま県域応援企画の概要

事業名 (施策名)	地域・農業活性化担い手支援事業	
	A. 農業新技術の導入費用助成	B. 水田農業(主穀作)の省力・低コスト化技術の導入費用助成
助成対象	①ロボットトラクター^{※1} ②農業用ドローン ③農業用アシストスーツ^{※2} ④自動操舵システム^{※3} ⑤リモコン草刈機 ⑥可変施肥機能付きブロードキャスト^{※4} ※1 自動操舵機能や直線アシスト機能を備えたトラクターを含む。 ※2 モーターによるアシストや人工筋肉等による荷重分散効果により重量物の持上げ・下げ時に腰や腕にかかる負荷を軽減する機能を備えたアシストスーツ、および腕上げ作業等をサポートする機能やコンテナの持上げに特化した機能を備えたアシストスーツとする。 ※3 トラクター用の後付け型自動操舵システムとする。 ※4 事前に作成・入力した施肥マップデータを基に、GPSと連動して指定した量の肥料を指定した場所に自動散布する機能を備えたブロードキャストとする。	①直播栽培用播種機・防除機 ②コーンヘッダー^{※5} ③高性能田植機^{※1} ④水田除草機、自動抑草機 ⑤農業用ラジコンボート ⑥トラクター装着型鎮圧ローラー ⑦フレコン出荷用機器 ⑧堆肥散布機・混合散布機^{※6} ⑨高性能コンバイン^{※2} ⑩色彩選別機 ⑪自動操舵システム^{※3} ⑫水管理システム ⑬乗用管理機 ⑭レーザーレベラー ⑮麦・大豆用トラクター装着型播種機 ⑯麦・大豆用普通型コンバイン^{※4} ※1 ロボット田植機および直線アシスト機能や可変施肥機能、苗量アシスト機能付きを備えた田植機とする。 ※2 ロボットコンバインおよび直線アシスト機能や収量等センサーを備えたコンバインとする。 ※3 田植機・コンバイン用の後付け型自動操舵システムとする。 ※4 稲・麦兼用の自脱型コンバインは対象外とし、麦や大豆の収穫に使用する汎用コンバインに限る。 ※5 子実用とうもろこしの収穫作業に使用する普通型コンバイン用アタッチメントとする。 ※6 乗用型、トラクター装着型、歩行型を含む。
	【参考：施策A～D】みどりの食料システム法に係る「基盤確立事業実施計画（令和5年11月時点認定状況）」の対象機器番号を「●」表記としている。	
支給対象条件	①対象者が農業リスク診断を受けること、および地域貢献活動ステッカーを助成対象の農業用機械器具に貼付すること。 ②事前申請の承認を受けてから令和6年12月末までに購入（代金の支払いが完了）した農業用機械器具であること。 ③今回申請する助成対象の農業用機械器具の購入費用に対して、国または地方公共団体等から補助金の交付を受けていない（受ける予定でない）こと。 ④『地域・農業活性化積立金』を活用した施策の助成金支給を過去に受けていない（今年度に受ける予定でない）こと。（「G. 鳥獣被害削減・防止対策費用の助成」および「H. 契約栽培（加工・業務用野菜等）の生産促進奨励」を除く。）ただし、対象者の支給回数に関して要領（6. 特例措置等）に定めた3項を全て満たす場合に限り、助成金支給を過去に1回受けている対象者であっても特例として2回目の申請を可能とする。 ⑤1台あたりの本体価格（税抜）が10万円以上^{※1}であり、今回初めて導入する機械器具^{※2}であること。	
対象者	耕種農業を営む認定農業者、認定新規就農者、生産者組織、農業法人	
経営規模 (作付面積)	①主穀3ha以上 ②施設野菜・果樹・花卉計20a以上 ③露地野菜・果樹・花卉計70a以上 ④果樹30a以上 ※認定新規就農者は経営規模を問わない。	①主穀3ha以上 ※認定新規就農者は経営規模を問わない。
	ただし、対象者の経営規模（作付面積）に要領（6. 特例措置等）に定めた2項を全て満たす個人経営の認定農業者に	
支給金額	「助成対象となる農業用機械器具の購入費用（税抜）の50%」あるいは「50万円」のいずれか低い金額とする。	
受付期間	事前申請：令和6年4月1日～令和6年9月30日 / 本申請：令和6年5月1日～令和7年1月21日	

事業名	新規就農者農機具等購入支援事業
募集期間	令和6年4月～令和7年1月（※事前申請受付期間）
対象者	次の①～④全てに該当する者 ① 新規就農者で以下(A)～(D)のいずれかに該当する者 (A) 認定農業者 (B) 認定新規就農者 (C) 所定の実践研修^(注1)を経て就農した新規独立就農者 (D) 一定規模以上^(注2)の認定農業者世帯における親元新規就農者^(注3)
助成対象	農機具・農業施設等導入費用 ① 助成対象物件は、1台あたり10万円以上（税抜）の農業専用の機械・施設とする。
助成内容	一人あたり導入費用（税抜）の50%あるいは50万円のいずれか低い金額を助成する。

農業振興支援事業のご案内

令和5年度 交付実績

(単位：円)

事業名	交付額		備考
	件数	金額	
新規就農者支援事業	11	2,159,000	予算250万
労働力軽減効率化支援事業	15	108,000	予算50万
担い手要望支援事業	13	2,226,000	予算300万
合計	39	4,493,000	総額600万

事業名	担い手要望支援事業
事業の内容	担い手農家の意見要望に対して、管内の特産農産物の維持、振興における資材購入費用の一部を助成する。
対象者及び要件	○組合員で下記のいずれかに該当する者とする。 ① 色彩選別機の購入費 高品質米のための新規導入（中古含む） ② 梨棚等の新規施工及び修復費等 梨園（果樹園含む）での棚等の新規施工及び修復工事 県単事業（果樹未然防止事業）に該当しない果樹類は多目的防災網代金 ③ 新規の農業用ハウスの設置費 規模拡大による農業用ハウスの増設 ④ 園芸作物用低温貯蔵庫の購入費 省エネ及び鮮度保持のための、低温貯蔵庫導入（買替含む） ※事前申請の承認前に導入または施工した工事等は対象外とする。 ※③④については生産部会員または直売所会員（インショップ出品者含む）に限る。
助成金額	○助成対象に関わる農機具や必要な機材等の購入・取組費用（税抜）の50%あるいは20万円のいずれか低い金額で、千円単位（千円未満切捨て）とする。また申請は、一人あたり年（事業実施期間）1回とする。 ※④については上限10万円とする。
助成上限総額	○通算総額は300万円以内
助成対象費用	①色彩選別機の購入費用 ②梨棚等資材購入費用及び新設・修復工事費用 ③農業用ハウス購入設置費用 ④園芸作物用低温貯蔵庫の購入費用
助成申請期間	本事業の助成を受けるにあたっては、事前に申請が必要です。 事前申請期間 令和6年5月1日～令和6年12月27日
交付予定日	令和7年3月末（予定）
注意事項	○国・県・他の事業から助成金等を受けている場合は、助成対象外とする。 ○期間内に助成上限総額に達した事業については、他の事業の申請状況を踏まえて、助成金の流用的な対応を可能とする。

支援内容

営農経済事業における積極的な事業展開に伴う多様なニーズに応えるため、新規就農者に対する支援や担い手の労働力軽減、更には担い手からの要望を踏まえた助成について、農業振興目的積立金を活用し、JA南彩中期3ヶ年計画の最終年度である令和6年度は、以下の3事業内容を実施するものです。

事業名	新規就農者支援事業	労働力軽減効率化支援事業
事業の内容	新規就農者・親元就農者に対し営農費用の一部を助成する。	農作業における労働力の軽減及び効率化のため資材費の一部を助成する。
対象者及び要件	○組合員で下記の条件をいずれも満たす者とする。 ①新規就農者（就農後5年まで）又は、世帯における親元新規就農者（就農後5年まで）で一定規模以上の認定農業者。 ②申請時点において、JA南彩管内に住所を有し、農業に従事しており、今後も継続する見込みであること。	○組合員であること。 ①農作業に必要な電動器具で用途が農業のものに限る。 ※事前申請時に確認審査あり ②軽減資材は防草シート及び生分解性マルチに限る。 ※軽減資材は事前申請承認後に購入し、本申請時には圃場内及び圃場周りに施工する。
助成金額	○合計本体価格20万円（税抜き）以上の本体価格の50%、あるいは20万円のいずれか低い金額で、千円単位（千円未満切捨て）とする。 また申請は、一人あたり年（事業実施期間）1回とする。	○助成対象の購入費用（税抜）の30%あるいは1万円のいずれか低い金額で、千円単位（千円未満切捨て）とする。また申請は、一人あたり年（事業実施期間）1回とする。
助成上限総額	○通算総額は250万円以内	○通算総額は50万円以内
助成対象費用	○農機具・農業施設等導入費 ○苗木の改植・新植及び資材費用等 かん水・排水設置費・果樹棚設置費	○農業用電動器具の購入費用 ○防草シート・生分解性マルチの購入費用
助成申請期間	本事業の助成を受けるにあたっては、事前に申請が必要です。 事前申請期間 令和6年5月1日～令和6年12月27日	
交付予定日	令和7年3月末（予定）	
注意事項	○国・県・他の事業から助成金等を受けている場合は、助成対象外とする。 ○期間内に助成上限総額に達した事業については、他の事業の申請状況を踏まえて、助成金の流用的な対応を可能とする。	

定期人事異動

4月1日付で定期人事異動を行いました。

氏名	所属役職
【部長職】	
折原英雄	経済部長
斎藤和雄	営農部長
【副部長職】	
岩崎浩史	営農部副部長兼生産販売課長
藤村直史	北部営農経済センター長
関根由貴仁	久喜江面支店統括副支店長
清水和夫	久喜江面支店統括副支店長
野本光治	金融共済部金融課長
利根川賢	春日部支店統括副支店長
小玉尚生	宮代支店統括副支店長
【課長職】	
三角俊之	企画管理部ふれあい広報課長
大熊隆文	企画管理部人事教育課長

氏名	所属役職
石井郁男	金融共済部資金運用課長
野口貴史	営農部営農支援課長
野田良	経済部資産管理課長
田嶋淳一	岩槻城北支店長
金子幸恵	岩槻城北支店統括副支店長
前田和彦	蓮田支店統括副支店長
杉村葉一	蓮田支店統括副支店長
野川真理子	久喜江面支店統括副支店長
松本雄司	久喜江面支店統括副支店長 (エリアマネージャー)
道祖土正	菖蒲南支店統括副支店長
【副課長職】	
小島真由美	営農部生産販売課副課長
小林洋子	企画管理部リスク管理課副課長
関根正裕	金融共済部金融課副課長

氏名	所属役職
押田浩之	金融共済部共済課副課長
鈴木克明	金融共済部推進企画課副課長
内田智美	白岡大山支店副支店長
板谷徹	白岡大山支店副支店長 (エリアマネージャー)
鈴木由佳	菖蒲南支店副支店長(渉外)
【係長職】	
金澤淳平	企画管理部ふれあい広報課係長
坂本和弘	企画管理部人事教育課係長
川鍋慎吾	金融共済部融資課係長
山岸正典	営農部営農支援課係長(営農渉外)
林潤	経済部経済課係長
磯部明宏	経済部資産管理課係長
山口修平	岩槻営農経済センター係長
金子哲也	北部営農経済センター係長

定期人事異動

氏名	所属役職
鈴木佑起子	蓮田支店係長(窓口)
野島孝典	白岡大山支店係長(渉外)
草間美貴	久喜江面支店係長(窓口)
菊地徹	菖蒲南支店係長(渉外)
時田卓	岩槻城南支店係長(渉外)
栗原寿将	蓮田支店係長(渉外)
【主任職】	
長浜亜紀子	企画管理部ふれあい広報課主任
青木智香	企画管理部総務課主任
石井優一	企画管理部付主任 (情報センター出向)
高塚亮介	金融共済部 ローンセンター主任
小川裕大	営農部営農支援課主任(営農渉外)
戸ヶ崎洸	営農部営農支援課主任
高橋奨	岩槻営農経済センター主任
白石智	岩槻営農経済センター主任
金子和義	春日部営農経済センター主任
飯山貴之	岩槻城南支店主任(渉外)

氏名	所属役職
柿沼愛美里	岩槻城北支店主任(窓口)
水沼拓真	岩槻城北支店主任(渉外)
生田目健一	春日部支店主任(渉外)
鈴木康彦	春日部支店主任(渉外)
安西龍太	蓮田支店主任(渉外)
鈴木春菜	白岡大山支店主任(窓口)
若林由貴	白岡大山支店主任(窓口)
新井香織	白岡大山支店主任(窓口)
木村水帆	白岡大山支店主任(渉外)
小澤順一	久喜江面支店主任(渉外)
【係職】	
安原孝夫	企画管理部付係 (情報センター出向)
麻尾浩規	営農部営農支援課係(営農渉外)
遠藤章子	岩槻城北支店係(窓口)
古賀朱音	春日部支店係(窓口)
小泉麻衣	蓮田支店係(窓口)
中村千尋	宮代支店係(渉外)

定年退職

清水 満

営農経済部副部長

太田 和也

岩槻城北支店長

中村 満

久喜江面統括副支店長

在職中は、大変お世話になりました。



氏名	所属役職
佐藤千咲	白岡大山支店係(窓口)
井出有沙	菖蒲南支店係(窓口)
村上奈名	菖蒲南支店係(窓口)
【専門員職】	
関根克己	中部営農経済センター総合専門員

令和6年度 新採用職員紹介

4月1日に本店会議室で「新採用職員辞令交付式」を行い、新たに入組した9名へ菊池組合長から辞令を交付しました。組合員・地域の皆さまから1日でも早く、信頼される職員になれるよう業務に励んでまいります。皆さまからの温かいご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



春日部営農経済センター

あすき りくと
東 陸斗

- ① お菓子作り
- ② コミュニケーションスキルの向上
- ③ みんなから愛される職員になります！

- ① 特技・趣味など
- ② 学生時代一番頑張ったこと
- ③ 社会人になってチャレンジしたいこと



中部営農経済センター

いとう みつなり
伊藤 光直

- ① 浦和レッズの試合を観に行く
- ② サークルで会長を務めたこと
- ③ 頼られる人になる



北部営農経済センター

みなみ りか
南 麗央

- ① サッカー
- ② 友達作り
- ③ 仕事ができる人になりたい。



宮代支店

みそ の りな
目黒 夢菜

- ① お菓子作り、レシピ探し
- ② アルバイト
- ③ 貯金



白岡大山支店

えのき あまめ
榎 天瞳

- ① 書道
- ② 書道部での活動
- ③ 新しい趣味を見つける！



菖蒲南支店

かた りょうや
加田 燎雅

- ① カラオケ、谷津の曲を聴く、読書
- ② 論文作成
- ③ 貯金、イベントに使う



春日部支店

ひらた ゆな
半田 優奈

- ① 音楽・映画鑑賞
- ② 虫三姉妹
- ③ 海外旅行



蓮田支店

みづはら りな
水稀 里紗

- ① ゲーム、漫画を読むこと
- ② 部活と資格取得
- ③ 貯めたお金で友達と旅行



岩槻城南支店

やしま かの
矢島 圭乃

- ① ラーメン・カフェ巡り
- ② 部活(ソフトテニス)
- ③ 貯金



令和7年度 JA南彩職員募集



“地域”に寄り添い “未来”に繋ごう



素敵な仕事を素敵な笑顔で♪

あなたの力で地域の皆さまの期待に応えませんか!!

職 種 ▶ 総合職

採用予定人数 ▶ 若干名

応募資格 ▶ 令和7年3月までに大学・短大及び専門学校卒業見込の方

給 与 ▶ 大卒 204,340円～
短大・専門学校卒 184,760円～

※令和7年4月において車通勤が可能な方



マイナビ2025

左記のQRコードの
マイナビサイトから
エントリーして下さい。

お問い合わせ先

〒344-0064 埼玉県春日部市南二丁目4番30号
JA南彩 企画管理部人事教育課
TEL 048-720-8050

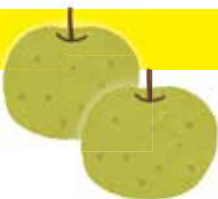
JA南彩梨選果センター

アルバイト募集!!

選果場統合による規模拡大のため20名採用予定

仕事内容

梨の選別作業
箱詰め作業・箱積み作業
袋詰め作業
フォークリフト作業（免許取得者）



場所・時間・時給

場所：久喜市菖蒲町下栢間948

（菖蒲グリーンセンター隣）

期間：令和6年8月上旬～10月中旬

時間：8：30～17：00

（シフト制 当日の出荷量により
終了時間が変更になります）

時給：1,050円～

※定員に達し次第募集を締め切らせていただきます

ご興味のある方はお気軽に
お問い合わせください

受付時間 平日8:45～17:00

JA南彩北部営農経済センター TEL 0480-85-7334

JA南彩本店営農部営農支援課 TEL 048-720-8092

令和6年度、JA南彩管内を担当されるさいたま農林振興センター農業支援部、春日部農林振興センター農業支援部技術普及担当 普及指導員の方々です。

さいたま農林振興センター農業支援部

電話：048-822-1007
FAX：048-834-5366

所長 田嶋 貴公
農業支援部長 九十九 薫

技術普及担当（南部地域）			
職名	氏名	市町窓口	分担する技術項目
担当部長	川口 彰	—	野菜、作物
主任	市川 浩二郎	さいたま市	—
主任	柴崎 茜月	—	果樹、花植木
主任	栗原 菜月	—	野菜、作物
主任	三宅 伴里	さいたま市	野菜、作物
主任	荒川 拓哉	—	野菜、果樹
技師	大畑 悠汰	さいたま市	野菜、作物

春日部農林振興センター農業支援部

電話：048-737-6311
FAX：048-737-6313

所長 木村 眞司
副所長 南原 恵子
農業支援部長 郡 克

技術普及担当（西部地域）			
職名	氏名	市町窓口	分担する技術項目
担当部長	杉村 孝	—	野菜、作物
主任	平田 信幸	久喜市	作物、果樹
主任	三橋 伊路	白岡市	果樹、作物
主任専門員	入江 尚彦	蓮田市	果樹、野菜
技師	前出 小夏	—	野菜、花植木
技師	若梅 直輝	—	作物、野菜

技術普及担当（中部地域）			
職名	氏名	市町窓口	分担する技術項目
担当部長	日野 千夏	—	野菜、作物、花植木
担当課長	梶田 裕介	春日部市	作物、野菜、畜産
主任	田辺 翔	杉戸町	作物、野菜
主任専門員	加藤 雅之	幸手市	野菜、作物
技師	中村 万葉歌	宮代町	果樹、作物



令和6年度 営農渉外（TAC）のご紹介

☆はエリアリーダーです

Tとことん、A会って、Cコミュニケーション!!



☆山岸 正典
南部（岩槻）
090-3808-6281



小川 裕大
南部（岩槻）
080-6583-3139



横手 大佑
南部（春日部）
080-6583-3135



小林 央承
中部（蓮田）
070-1042-7289



岡安 謙
中部（宮代）
080-6583-3151



☆相澤 優樹
中部（白岡）
080-6583-3127



田中 雄一郎
北部（久喜）
080-6583-3136



島崎 列央
北部（久喜）
080-1013-2518



☆稲山 直樹
北部（菖蒲）
090-3808-6337



麻尾 浩規
北部（菖蒲）
080-6583-3099

JAのライスセンター・ カントリーエレベーター 米・麦施設の利用者を募集中!!

米・麦の乾燥・調製を行う施設です

●管内には3か所の共同乾燥施設
がございます。

- ①白岡ライスセンター
- ②久喜ライスセンター
- ③菫蒲カントリーエレベーター

※利用地域に関わらず、ご利用可能
です。

※一部取扱のできない品種もござい
ます。

【利用料金のご案内】

利用料金につきましては、生籾の
水分によって設定されております。

【米】

水分区分

30.1%以上	25円/kg
25.1%～30.0%	24円/kg
17.1%～25.0%	23円/kg
17.0%以下	18円/kg

【麦】

水分区分

30.1%以上	25円/kg
25.1%～30.0%	24円/kg
17.1%～25.0%	23円/kg
12.6%～17.0%	18円/kg
12.5%以下	8円/kg

※1kgあたりの料金(税別)

【利用について】

・各施設を利用すれば作業
の簡略化・省略化・労力
の軽減が図れるようにな
ります。

※各施設ごとに若干利用方法
が異なりますので、詳しく
は事前にご連絡ください。

※出荷前までに生産管理記
録簿の提出が必要となりま
す。

【大口利用者還元】

大口利用者に対して、荷受量10トン以上の方に、利
用料金を還元いたします。

条 件

荷受重量 10 t 以上～20 t 未満
還元金額 0.91円/kg (税別)

荷受重量 20 t 以上
還元金額 1.81円/kg (税別)

※対象は米のみとなります。

※管内施設の稼働がすべて終了後、お支払いいたします。

【保有米の手数料について】

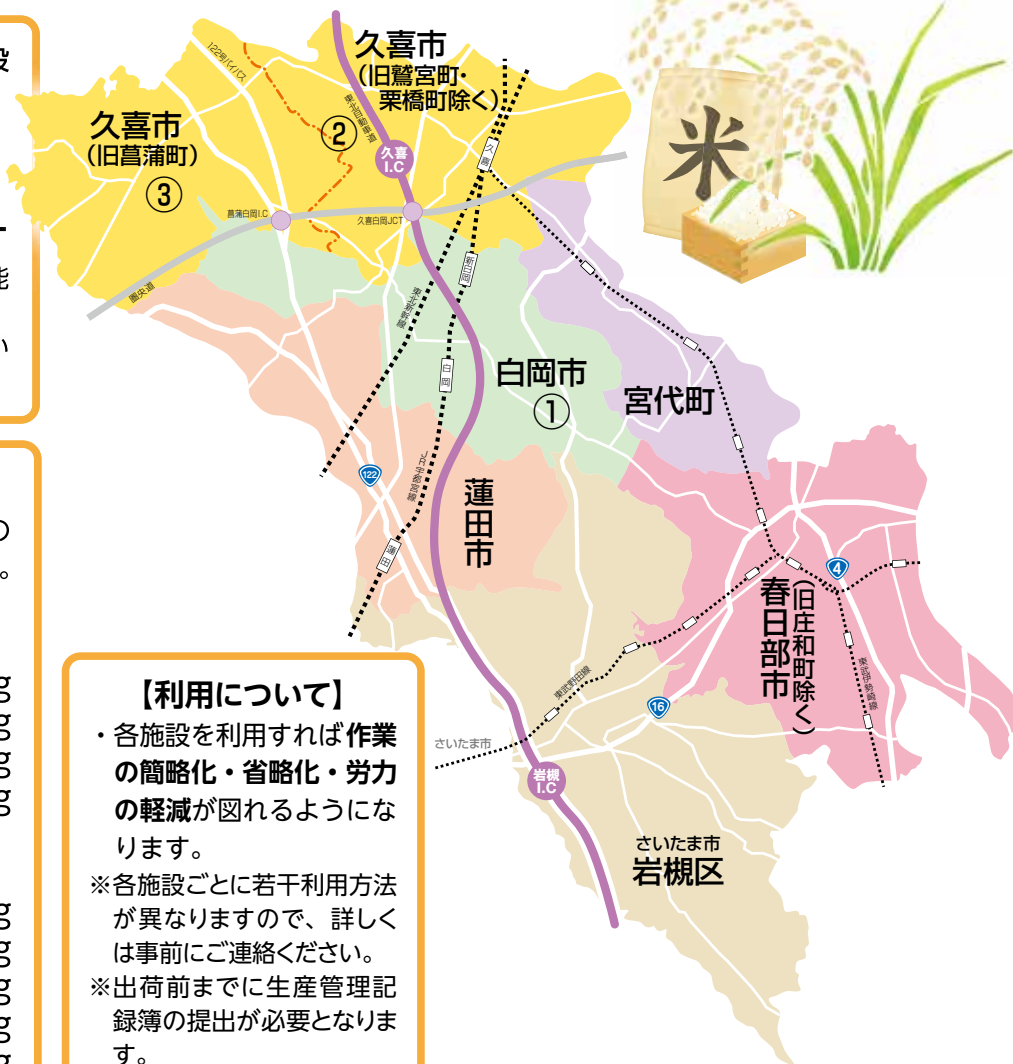
ご自宅用として保有米をお戻しします。なお、手
数料につきましては以下の通りとなります。

米代金精算時、保有米手数料90.91円/30kg袋
(税別)

なお、保有米の自己取りの方は、45.45円/30kg
袋 (税別) 助成いたします。

◆お申込み・ご利用に
関してのお問合わせは最寄の営農経済
センターへお願いい
たします。

■ 中部営農経済センター
TEL 048(768)5556
■ 北部営農経済センター
TEL 0480(85)7334



相談会のご案内

JAでは相談会を開催しています。お気軽にご利用ください。

営農相談

直売所・出荷場等を中心に、病虫害防除・雑草防除の営農相談コーナーを開設いたします。

6月5日(水)

岩槻農産物直売所
あさつゆの里
9:30~11:00
048-798-8311

6月11日(火)

久喜農産物直売所
久喜キラリ直売館
9:30~11:00
0480-25-1183

6月19日(水)

菖蒲グリーンセンター
9:30~11:00
0480-85-4444

年金相談会 5月15日(水) 9:00~16:00 全管内一斉開催

岩槻城北支店 048-794-1146	春日部支店 048-736-5501	蓮田支店 048-768-2190	宮代支店 0480-32-0102	白岡大山支店 0480-92-2315	久喜江面支店 0480-21-1101	菖蒲南支店 0480-85-1022
------------------------	-----------------------	----------------------	----------------------	------------------------	------------------------	-----------------------

※都合により時間に変更になる場合がございます。

令和5年度「JA南彩フォトコンテスト」結果発表

令和5年度「JA南彩フォトコンテスト」の入賞者が決定しました。

「農が見える季節感のある風景」をテーマに16名24作品のご応募をいただきました。

たくさんのご応募をいただきありがとうございました。

最優秀賞



「初冠雪での初収穫」(撮影 久喜市菖蒲町)
中根英治さん

組合長賞



「ほっつけの稲掛け」(撮影 新しい村)
山本 豊さん

優秀賞



「めちゃくちゃ
暑い中での稲刈り」
金子 功さん

優秀賞



「ひなたぼっこ」
(撮影 久喜市)
相澤依代さん

審査講評

テーマである農が見え季節を感じさせる写真が集まりました。

最優秀賞「初冠雪での初収穫」は、富士の初冠雪と初収穫が同じ日だったという、記録写真として素晴らしく、鳥の視点のような位置からの撮影も効果を上げています。

優秀賞「めちゃくちゃ暑い中での稲刈り」も、妊娠中の娘さんとお茶を飲む(将来の)おじいちゃんの間図が決まっています。「ひなたぼっこ」も、冬の果樹園をバックに、おばあちゃんと孫のほほえましい瞬間が切り取られています。

組合長賞の「ほっつけの稲掛け」は、古き良き農の風景を記録しようとする、そのまなざしが素晴らしいです。

(一社)家の光協会 普及文化本部
東日本普及文化局 局次長 近井 朋人

南彩インフォメーション

information

9			8	2			
	1		6				
		7				1	
				4		6	8
1							3
2	4		9				
	2				7		
				1		3	
		6	3				9

数独

NumberPlace 出題 ニコリ

二重枠に入った数字の合計はいくつ？

ルール

- ① 空いているマスに、1 から 9 までの数字のどれかを入れます。
- ② タテ列（9 列）、ヨコ列（9 列）、太線で囲まれた 3×3 のブロック（それぞれ 9 マスあるブロックが 9 つ）のいずれにも 1 から 9 までの数字が 1 つずつ入ります。

応募方法

正解者の中から抽選で 10 名様に図書カードをプレゼント。

【締切日】 5 月末日 発表は 7 月号です。

3 月号の答え

答え 8

当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

【理事会だより】

令和 6 年 3 月 27 日、定例理事会が行われ、次の事項について審議され、全議案原案通り可決・承認されました。

- (1) 令和 6 年 2 月末財務状況及び 3 月末見込みについて
- (2) 令和 6 年度事業計画について
- (3) 令和 6 年度役員報酬について
- (4) 令和 6 年度内部監査計画について
- (5) 目的積立金の取崩について
- (6) 給与規程の一部変更について
- (7) 職制規程（職制規程・業務分掌兼職務権限表）の一部変更について
- (8) 内部統制システム基本方針の一部変更について
- (9) 公印及び金庫管理規程の一部変更について
- (10) 令和 6 年度余裕金運用について
- (11) 賃貸施設等事業資金特別貸出要領に基づく取扱期間及び貸出限度額について
- (12) 令和 6 年度借入金の最高限度額について
- (13) 令和 6 年度信用供与等の限度額について
- (14) 令和 6 年度理事会附議を要する大口信用供与等の額について
- (15) 令和 6 年度貸出金利率の最高限度について
- (16) J A 統一ローン（基金協会保証）融資要項の一部変更について
- (17) J A バンクローン（協同住宅ローン保証）融資要項の一部変更について
- (18) 無担保ローン（三菱 UF J ニコス保証）融資要項の一部変更について
- (19) ジャックス保証ローン融資要項の一部変更について
- (20) 令和 4 年産出荷契約米の最終精算について（J A 南彩米穀共同計算委員会報告）
- (21) 令和 5 年産米飯精算について
- (22) 令和 5 年産米粉用米・飼料用米精算について
- (23) J A 南彩共同乾燥調製施設（C E ・ R C）利用料金の設定について
- (24) J A 南彩農業振興支援事業について
- (25) 年度末賞与の支給について
- (26) 南部営農経済センター新築工事の請負契約締結について
- (27) 固定資産の取得について（直売所 POS 更新工事）
- (28) 固定資産の取得について（J A 南彩梨選果センター空調設備工事）
- (29) 令和 6 年度株式会社なんさい ふぁー夢の事業計画について

9	4	2	6	1	8	7	3	5
6	⑤	3	9	7	2	4	1	8
1	7	8	5	3	4	2	9	6
5	3	1	4	8	9	6	2	7
2	6	9	7	5	3	8	4	1
4	8	7	1	2	6	3	5	9
3	9	5	8	4	7	1	6	2
8	2	6	3	9	1	5	7	4
7	1	4	2	6	5	9	8	③

3 月号応募総数 59 通

63 〒344-0064

J A 南彩

ふれあい広報課

春日部市南
二丁目 4 番 30 号

● 郵便番号・住所
● 氏名・年齢
● J A 南彩と本誌への
ご意見・ご希望・短歌・
イラストなど

※応募ハガキに基づく個人情報は抽選、景品の発送、意見等の掲載に使用させていただきます。あらかじめご了承ください。
※おひとり様 1 枚までのご応募とさせていただきます。

主要事業の概要

—— 令和 6 年 3 月末現在 ——

出資金につきましては、28 億 8,845 万円です。

	令和 6 年 3 月末	令和 5 年 3 月末	前年度末増減
正組合員数	9,066 人	9,216 人	△150 人
准組合員数	19,044 人	19,166 人	△122 人
組合員数合計	28,110 人	28,382 人	△272 人

	令和 6 年 3 月末	令和 5 年 3 月末	前年度同月対比
貯金高	2,771 億 6,733 万円	2,820 億 7,868 万円	98.2%
貸出金	692 億 4,305 万円	669 億 7,859 万円	103.3%
共済保有高	5,944 億 2,901 万円	6,059 億 1,298 万円	98.1%
販売高	29 億 4,597 万円	26 億 5,431 万円	110.9%
購買品Ⅰ供給高	25 億 4,574 万円	25 億 5,464 万円	99.6%
購買品Ⅱ供給高（各直売所）	11 億 8,554 万円	11 億 4,072 万円	103.9%

※ 貸出金については、貸付留保金を控除しています。

編集後記

4 月から体制変更が行われた J A 南彩ですが、総合企画課に属していた広報誌の作成は「ふれあい広報課」が新設され、その新設した課で行うこととなりました。N も「ふれあい広報課」に異動となり、今後も広報誌なんさいの作成をまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。
編集担当 N

令和6年度 第1回 「梨栽培サポーター講座」受講者募集!



JA南彩管内の特産である梨は労働力不足もあり、栽培面積は減少傾向です。梨農家さんはお手伝いいただける労働力を求めています。そこで、梨の基礎知識と技術を身につけていただけるように講座を開催し、終了後には梨農家さんへ紹介などを予定しています。

講座は全3回を計画し、第1回は摘果（2日間）、第2回は収穫（2日間）、第3回は剪定（6日間）、それぞれ実習を行い、技術の習得支援を行います。

※日程は天候により変更することがございます。

※2日間の講座を受講された方にはライセンス証を発行します。

第1回（摘果講座）



開催日時 令和6年5月23日(木) 13時30分～16時
(内容：座学講習・現場研修)

令和6年7月4日(木) 14時～16時
(内容：現場研修)

開催場所 JA南彩 菖蒲南支店 ～ 菖蒲町内梨園

住所：久喜市菖蒲町小林238番地

対象者 梨栽培に興味があり梨栽培でお手伝いいただける方
人員 応募状況により調整させていただくことがあります

応募締め切り日 令和6年5月20日(月)

参加費 無 料

その他 お持ちいただくもの：帽子・タオル・水筒
動きやすく汚れてもいい服装でお越しください

JAで貸出のもの：はさみ・手袋

お申込み方法 希望受講者の氏名、住所、電話番号を記入し「梨栽培サポーター講座第1回希望」と明記して、下記あてに、「ハガキ」又は「FAX」でお申込み下さい。

お申込み先

- 【ハガキ】 〒344-0064 春日部市南2丁目4-30
JA南彩 営農部 営農支援課「梨栽培サポーター講座」宛
- 【FAX】 JA南彩 営農部 営農支援課 **FAX** 048-720-8095

お問合せ先 JA南彩 営農部 営農支援課 担当 杉崎 **TEL** 048-720-8092

お知らせ

ご葬儀の事前相談・ご連絡は

JA葬祭総合センター

0120-145-731 (24時間・365日対応)



▲こちらの問合せフォームからメールでの相談も可能です。

番号案内サービス(104)へお問合せの際は、必ず**JA南彩の葬儀**とおたずねください。